

令和 5 年度 病院事業決算状況

都道府県名 富山県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	中央病院	2
-	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター	3
富山市	富山市民病院	4
富山市	富山まちなか病院	5
高岡市	高岡市民病院	6
氷見市	金沢医科大学 氷見市民病院	7
黒部市	黒部市民病院	8
砺波市	市立砺波総合病院	9
南砺市	南砺市民病院	10
南砺市	公立南砺中央病院	11
射水市	射水市民病院	12
上市町	かみいち総合病院	13
朝日町	あさひ総合病院	14

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				富山県	
市町村・組合名					
病院名		中央病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	66,220㎡	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	34	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7：1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	665	80.6	82.9	76.9	
療養	-	-	-	-	
結核	16	8.4	14.0	11.5	
精神	50	72.8	72.9	64.9	
感染症	2	10.5	16.2	13.8	
計	733	78.3	80.5	74.5	
平均在院日数(一般病床のみ)		10.4	10.4	10.0	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				40,782,143	
1 固定資産				31,221,131	
(1) 有形固定資産				29,817,979	
(2) 無形固定資産				1,367	
(3) 投資その他の資産				1,401,785	
2 流動資産				9,561,012	
(1) 現金及び預金				4,041,071	
(2) 未収金及び未収収益				5,351,967	
(3) 貸倒引当金()				5,387	
(4) 貯蔵品				173,361	
3 繰延資産				-	
負債合計				29,038,270	
1 固定負債				17,851,429	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				12,560,628	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				5,154,344	
(6) リース債務				136,457	
2 流動負債				6,413,213	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				2,179,114	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				822,566	
(6) リース債務				62,296	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				3,280,247	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				4,773,628	
(1) 長期前受金				8,960,642	
(2) 長期前受金収益化累計額()				4,187,014	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				11,743,873	
1 資本金				16,438,194	
2 剰余金				-4,694,321	
(1) 資本剰余金				1,638,275	
(2) 利益剰余金				-6,332,596	
負債・資本合計				40,782,143	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。					

設立団体の状況		
人口(人)	1,034,814	
決算規模(千円)	588,990,295	
標準財政規模(千円)	309,874,046	
財政力指数	0.44924	
経常収支比率(%)	93.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.8
	将来負担比率(%)	217.7

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,539,511	1,539,511
資本勘定繰入	268,786	268,786
計	1,808,297	1,808,297

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	23.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

損益計算書					(千円・%)
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	29,690,184				
1 経常収益	29,690,068				
(1) 医業収益	27,532,958				
(うち修正医業収益)	27,292,083				
入院収益	17,998,785				
外来収益	9,005,258				
診療収入計	27,004,043				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	528,915				
(うち他会計負担金)	240,875				
(2) 医業外収益	2,157,110				
(うち国・都道府県補助金)	479,637				
(うち他会計補助・負担金)	1,298,636				
(うち長期前受金戻入)	94,606				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	116				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	30,223,409				
2 経常費用	30,211,653				
(1) 医業費用	28,644,344				
職員給与費	12,213,852	44.4	58.7	51.4	
材料費	10,406,846	37.8	26.9	32.6	
(うち薬品費)	5,832,915	21.2	14.8	18.5	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	4,403,002	16.0	11.7	13.9	
減価償却費	1,753,552	6.4	8.5	7.4	
経費	4,123,611	15.0	21.5	16.9	
(うち委託料)	2,174,536	7.9	11.5	10.0	
研究研修費	110,240				
資産減耗費	36,243				
(2) 医業外費用	1,567,309				
(うち支払利息)	76,064	0.3	0.9	0.8	
(3) 特別損失	11,756				
損益	経常損益	-521,585			
	純損益	-533,225			
累積欠損金	6,203,887				
経常収支比率	98.3		96.5	97.6	
医業収支比率	96.1		86.0	91.7	
修正医業収支比率	95.3		83.2	89.8	
他会計繰入金対経常収益比率	5.2		11.5	7.2	
他会計繰入金対医業収益比率	5.6		13.7	8.1	
他会計繰入金対総収益比率	5.2		11.5	7.2	
実質収益対経常費用比率	93.2		85.4	90.5	

備考：

「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				富山県	
市町村・組合名					
病院名		富山県リハビリテーション病院・こども支援センター			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	20,638㎡	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	12	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	15：1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	200床以上～300床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	232	85.0	84.5	87.2	
療養	-	-	-	-	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	232	85.0	84.5	87.2	
平均在院日数(一般病床のみ)		74.9	76.0	81.2	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				40,782,143	
1 固定資産				31,221,131	
(1) 有形固定資産				29,817,979	
(2) 無形固定資産				1,367	
(3) 投資その他の資産				1,401,785	
2 流動資産				9,561,012	
(1) 現金及び預金				4,041,071	
(2) 未収金及び未収収益				5,351,967	
(3) 貸倒引当金()				5,387	
(4) 貯蔵品				173,361	
3 繰延資産				-	
負債合計				29,038,270	
1 固定負債				17,851,429	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				12,560,628	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				5,154,344	
(6) リース債務				136,457	
2 流動負債				6,413,213	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				2,179,114	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				822,566	
(6) リース債務				62,296	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				3,280,247	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				4,773,628	
(1) 長期前受金				8,960,642	
(2) 長期前受金収益化累計額()				4,187,014	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				11,743,873	
1 資本金				16,438,194	
2 剰余金				-4,694,321	
(1) 資本剰余金				1,638,275	
(2) 利益剰余金				-6,332,596	
負債・資本合計				40,782,143	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	529,038	540,440
資本勘定繰入	147,407	294,815
計	676,445	835,255

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	23.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				富山県	
市町村・組合名		富山市			
病院名		富山市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透Ⅰ訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	43,430㎡	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	35	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7：1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	489	78.7	68.0	67.0	
療養	-	-	-	-	
結核	-	-	-	-	
精神	50	50.4	47.8	38.2	
感染症	6	-	-	-	
計	545	75.2	65.4	63.6	
平均在院日数(一般病床のみ)		12.4	12.5	12.3	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				12,468,988	
1 固定資産				8,917,853	
(1) 有形固定資産				8,834,464	
(2) 無形固定資産				83,389	
(3) 投資その他の資産				-	
2 流動資産				3,551,135	
(1) 現金及び預金				1,192,863	
(2) 未収金及び未収収益				2,300,421	
(3) 貸倒引当金()				4,613	
(4) 貯蔵品				62,464	
3 繰延資産				-	
負債合計				8,918,398	
1 固定負債				6,203,609	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				2,936,890	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				3,266,719	
(6) リース債務				-	
2 流動負債				2,590,283	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				759,909	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				529,625	
(6) リース債務				-	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				1,258,605	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				124,506	
(1) 長期前受金				583,880	
(2) 長期前受金収益化累計額()				459,374	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				3,550,590	
1 資本金				9,240,286	
2 剰余金				-5,689,696	
(1) 資本剰余金				10,224	
(2) 利益剰余金				-5,699,920	
負債・資本合計				12,468,988	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。					

設立団体の状況		
人口(人)	413,938	
決算規模(千円)	178,438,765	
標準財政規模(千円)	104,845,737	
財政力指数	0.80	
経常収支比率(%)	92.9	
健全化	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
判断比率	実質公債費比率(%)	8.8
	将来負担比率(%)	84.2

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,179,861	1,199,853
資本勘定繰入	128,643	128,643
計	1,308,504	1,328,496

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	45.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				富山県	
市町村・組合名		富山市			
病院名		富山まちなか病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	3,833㎡	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	5	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10：1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上～100床未満		

病床利用率・平均在院日数(％・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	50	84.4	80.4	79.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	84.4	80.4	79.3
平均在院日数(一般病床のみ)		32.0	27.8	24.1

貸借対照表(千円)				
区分		決算額		
資産合計		12,468,988		
1 固定資産		8,917,853		
(1) 有形固定資産		8,834,464		
(2) 無形固定資産		83,389		
(3) 投資その他の資産		-		
2 流動資産		3,551,135		
(1) 現金及び預金		1,192,863		
(2) 未収金及び未収収益		2,300,421		
(3) 貸倒引当金()		4,613		
(4) 貯蔵品		62,464		
3 繰延資産		-		
負債合計		8,918,398		
1 固定負債		6,203,609		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		2,936,890		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		3,266,719		
(6) リース債務		-		
2 流動負債		2,590,283		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		759,909		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		529,625		
(6) リース債務		-		
(7) 一時借入金		-		
(8) 未払金及び未払費用		1,258,605		
(9) 前受金及び前受収益		-		
3 繰延収益		124,506		
(1) 長期前受金		583,880		
(2) 長期前受金収益化累計額()		459,374		
(3) 繰延運営権対価		-		
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()		-		
(5) 運営権者更新投資		-		
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()		-		
資本合計		3,550,590		
1 資本金		9,240,286		
2 剰余金		-5,689,696		
(1) 資本剰余金		10,224		
(2) 利益剰余金		-5,699,920		
負債・資本合計		12,468,988		
不良債務		-		
実質資金不足額		-		
資本不足額()		-		
資本不足額(繰延収益控除後)()		-		
備考				
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。				

設立団体の状況		
人口(人)	413,938	
決算規模(千円)	178,438,765	
標準財政規模(千円)	104,845,737	
財政力指数	0.80	
経常収支比率(%)	92.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.8
	将来負担比率(%)	84.2

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	67,898	67,903
資本勘定繰入	5,757	5,757
計	73,655	73,660

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	45.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	915,382			
1 経常収益	915,382			
(1) 医業収益	845,861			
(うち修正医業収益)	845,861			
入院収益	530,236			
外来収益	239,003			
診療収入計	769,239			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	76,622			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	69,521			
(うち国・都道府県補助金)	100			
(うち他会計補助・負担金)	67,903			
(うち長期前受金戻入)	635			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	981,940			
2 経常費用	981,940			
(1) 医業費用	949,043			
職員給与費	555,330	65.7	58.7	78.7
材料費	124,662	14.7	26.9	14.5
(うち薬品費)	89,840	10.6	14.8	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	34,822	4.1	11.7	6.1
減価償却費	13,196	1.6	8.5	11.8
経費	253,248	29.9	21.5	32.3
(うち委託料)	137,600	16.3	11.5	15.3
研究研修費	2,607			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	32,897			
(うち支払利息)	37	-	0.9	1.1
(3) 特別損失	-			
損益				
経常	常損益	-66,558		
純	損益	-66,558		
累積欠損金	744,823			
経常収支比率	93.2		96.5	96.4
医業収支比率	89.1		86.0	72.4
修正医業収支比率	89.1		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	7.4		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	8.0		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	7.4		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	86.3		85.4	73.0

備考：

「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				富山県	
市町村・組合名		高岡市			
病院名		高岡市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透Ⅰ未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	33,068㎡	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	24	指定病院の状況	救臨感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7：1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	Ⅰ…ICU・CCU	末…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	305	66.5	71.3	70.3	
療養	-	-	-	-	
結核	12	25.0	49.8	43.6	
精神	50	51.5	48.0	60.4	
感染症	6	-	-	-	
計	373	62.1	66.3	67.2	
平均在院日数(一般病床のみ)		11.9	12.7	13.0	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				11,530,649	
1 固定資産				8,894,782	
(1) 有形固定資産				8,890,426	
(2) 無形固定資産				-	
(3) 投資その他の資産				4,356	
2 流動資産				2,635,867	
(1) 現金及び預金				1,612,121	
(2) 未収金及び未収収益				989,818	
(3) 貸倒引当金()				5,246	
(4) 貯蔵品				38,803	
3 繰延資産				-	
負債合計				9,035,224	
1 固定負債				6,019,125	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				6,019,125	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				-	
(6) リース債務				-	
2 流動負債				2,483,254	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				1,078,303	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				315,110	
(6) リース債務				-	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				1,059,159	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				532,845	
(1) 長期前受金				1,214,215	
(2) 長期前受金収益化累計額()				681,370	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				2,495,425	
1 資本金				12,028,684	
2 剰余金				-9,533,259	
(1) 資本剰余金				-	
(2) 利益剰余金				-9,533,259	
負債・資本合計				11,530,649	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	911,665	934,077
資本勘定繰入	60,194	61,507
計	971,859	995,584

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	129.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				富山県	
市町村・組合名		氷見市			
病院名		金沢医科大学 氷見市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透Ⅰ訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	24,217㎡	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	26	指定病院の状況	救臨へ輪		
許可公営企業		看護配置	7：1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	200床以上～300床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	Ⅰ…ICU・CCU	末…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	245	74.5	72.0	74.9	
療養	-	-	-	-	
結核	5	13.0	3.6	3.6	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	250	73.3	70.6	73.5	
平均在院日数(一般病床のみ)		19.1	19.2	18.2	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				4,029,075	
1 固定資産				3,833,801	
(1) 有形固定資産				3,706,426	
(2) 無形固定資産				-	
(3) 投資その他の資産				127,375	
2 流動資産				195,274	
(1) 現金及び預金				12,996	
(2) 未収金及び未収収益				182,278	
(3) 貸倒引当金()				-	
(4) 貯蔵品				-	
3 繰延資産				-	
負債合計				4,448,990	
1 固定負債				3,437,010	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				3,437,010	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				-	
(6) リース債務				-	
2 流動負債				631,851	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				448,010	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				-	
(6) リース債務				-	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				183,440	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				380,129	
(1) 長期前受金				929,915	
(2) 長期前受金収益化累計額()				549,786	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				-419,915	
1 資本金				8,005,851	
2 剰余金				-8,425,766	
(1) 資本剰余金				136,914	
(2) 利益剰余金				-8,562,680	
負債・資本合計				4,029,075	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				419,915	
資本不足額(繰延収益控除後)()				39,786	
備考					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	441,707	528,237
資本勘定繰入	268,816	318,812
計	710,523	847,049

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	7447.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

損益計算書					(千円・%)
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	775,192				
1 経常収益	772,644				
(1) 医業収益	114,975				
(うち修正医業収益)	53,524				
入院収益	-				
外来収益	-				
診療収入計	-				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	114,975				
(うち他会計負担金)	61,451				
(2) 医業外収益	657,669				
(うち国・都道府県補助金)	13,214				
(うち他会計補助・負担金)	466,786				
(うち長期前受金戻入)	35,047				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	2,548				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	1,099,782				
2 経常費用	1,097,234				
(1) 医業費用	1,036,753				
職員給与費	24,606	21.4	58.7	63.9	
材料費	-	-	26.9	21.1	
(うち薬品費)	-	-	14.8	10.6	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	10.2	
減価償却費	468,404	407.4	8.5	9.3	
経費	530,961	461.8	21.5	28.2	
(うち委託料)	8,915	7.8	11.5	14.0	
研究研修費	-				
資産減耗費	12,782				
(2) 医業外費用	60,481				
(うち支払利息)	56,126	48.8	0.9	1.0	
(3) 特別損失	2,548				
損益	経常損益	-324,590			
	純損益	-324,590			
累積欠損金		8,562,680			
経常収支比率		70.4	96.5	93.2	
医業収支比率		11.1	86.0	81.2	
修正医業収支比率		5.2	83.2	77.9	
他会計繰入金対経常収益比率		68.4	11.5	13.2	
他会計繰入金対医業収益比率		459.4	13.7	16.1	
他会計繰入金対総収益比率		68.1	11.5	13.3	
実質収益対経常費用比率		22.3	85.4	80.9	

備考：

「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				富山県	
市町村・組合名		黒部市			
病院名		黒部市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透Ⅰ未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	48,784㎡	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	34	指定病院の状況	救臨が感へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	7：1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	Ⅰ…ICU・CCU	末…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	405	66.4	67.2	65.6	
療養	-	-	-	-	
結核	5	5.6	-	6.3	
精神	-	-	-	-	
感染症	4	-	0.1	5.1	
計	414	65.0	65.8	64.3	
平均在院日数(一般病床のみ)		11.1	11.2	10.3	

貸借対照表		(千円)
区分	決算額	
資産合計	16,914,271	
1 固定資産	12,254,612	
(1) 有形固定資産	12,058,097	
(2) 無形固定資産	-	
(3) 投資その他の資産	196,515	
2 流動資産	4,659,659	
(1) 現金及び預金	2,830,692	
(2) 未収金及び未収収益	1,755,506	
(3) 貸倒引当金()	1,990	
(4) 貯蔵品	75,152	
3 繰延資産	-	
負債合計	10,180,938	
1 固定負債	6,969,579	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,933,021	
(2) その他の企業債	-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-	
(4) その他の長期借入金	-	
(5) 引当金	-	
(6) リース債務	36,558	
2 流動負債	2,500,196	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	824,586	
(2) その他の企業債	-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-	
(4) その他の長期借入金	-	
(5) 引当金	355,189	
(6) リース債務	24,372	
(7) 一時借入金	-	
(8) 未払金及び未払費用	1,254,857	
(9) 前受金及び前受収益	-	
3 繰延収益	711,163	
(1) 長期前受金	1,387,689	
(2) 長期前受金収益化累計額()	676,526	
(3) 繰延運営権対価	-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-	
(5) 運営権者更新投資	-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-	
資本合計	6,733,333	
1 資本金	7,072,931	
2 剰余金	-339,598	
(1) 資本剰余金	492,944	
(2) 利益剰余金	-832,542	
負債・資本合計	16,914,271	
不良債務	-	
実質資金不足額	-	
資本不足額()	-	
資本不足額(繰延収益控除後)()	-	
備考		

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	938,299	623,855
資本勘定繰入	467,982	32,000
計	1,406,281	655,855

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	8.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考：					
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。					

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				富山県	
市町村・組合名		砺波市			
病院名		市立砺波総合病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透Ⅰ訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	47,729㎡	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	29	指定病院の状況	救臨が感へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	7：1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	Ⅰ…ICU・CCU	末…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	418	68.8	65.7	67.6	
療養	-	-	-	-	
結核	5	3.8	18.8	35.0	
精神	44	36.2	44.2	41.3	
感染症	4	46.8	45.6	62.5	
計	471	64.8	63.0	64.8	
平均在院日数(一般病床のみ)		14.6	14.8	14.5	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				13,553,213	
1 固定資産				9,808,114	
(1) 有形固定資産				9,496,314	
(2) 無形固定資産				3,594	
(3) 投資その他の資産				308,206	
2 流動資産				3,745,099	
(1) 現金及び預金				2,040,546	
(2) 未収金及び未収収益				1,623,898	
(3) 貸倒引当金()				5,000	
(4) 貯蔵品				85,552	
3 繰延資産				-	
負債合計				9,669,081	
1 固定負債				6,370,700	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				6,170,700	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				200,000	
(6) リース債務				-	
2 流動負債				2,416,512	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				907,314	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				426,792	
(6) リース債務				-	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				1,065,811	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				881,869	
(1) 長期前受金				2,261,622	
(2) 長期前受金収益化累計額()				1,379,753	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				3,884,132	
1 資本金				6,351,719	
2 剰余金				-2,467,587	
(1) 資本剰余金				344,019	
(2) 利益剰余金				-2,811,606	
負債・資本合計				13,553,213	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,417,950	1,183,840
資本勘定繰入	597,406	18,000
計	2,015,356	1,201,840

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	27.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				富山県	
市町村・組合名		南砺市			
病院名		南砺市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	16,674㎡	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	25	指定病院の状況	救臨へ輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	175	74.6	78.2	78.6	
療養	-	-	-	-	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	175	74.6	78.2	78.6	
平均在院日数(一般病床のみ)		13.2	14.7	15.7	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				11,343,414	
1 固定資産				8,020,670	
(1) 有形固定資産				8,000,735	
(2) 無形固定資産				19,935	
(3) 投資その他の資産				-	
2 流動資産				3,322,744	
(1) 現金及び預金				2,051,470	
(2) 未収金及び未収収益				1,236,990	
(3) 貸倒引当金()				9,038	
(4) 貯蔵品				43,322	
3 繰延資産				-	
負債合計				6,236,541	
1 固定負債				4,092,784	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				4,029,052	
(2) その他の企業債				3,732	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				60,000	
(5) 引当金				-	
(6) リース債務				-	
2 流動負債				1,480,351	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				699,931	
(2) その他の企業債				1,382	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				62,000	
(5) 引当金				262,113	
(6) リース債務				-	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				454,249	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				663,406	
(1) 長期前受金				1,294,034	
(2) 長期前受金収益化累計額()				630,628	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				5,106,873	
1 資本金				10,467,326	
2 剰余金				-5,360,453	
(1) 資本剰余金				14,157	
(2) 利益剰余金				-5,374,610	
負債・資本合計				11,343,414	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	348,949	378,638
資本勘定繰入	143,514	152,622
計	492,463	531,260

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	97.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				富山県	
市町村・組合名		南砺市			
病院名		公立南砺中央病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	13,959㎡	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	16	指定病院の状況	救臨へ輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数(％・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	104	87.2	85.4	78.4
療養	45	71.0	73.2	83.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	149	82.3	81.7	79.8
平均在院日数(一般病床のみ)		16.7	14.6	14.7

貸借対照表(千円)				
区分		決算額		
資産合計		11,343,414		
1 固定資産		8,020,670		
(1) 有形固定資産		8,000,735		
(2) 無形固定資産		19,935		
(3) 投資その他の資産		-		
2 流動資産		3,322,744		
(1) 現金及び預金		2,051,470		
(2) 未収金及び未収収益		1,236,990		
(3) 貸倒引当金()		9,038		
(4) 貯蔵品		43,322		
3 繰延資産		-		
負債合計		6,236,541		
1 固定負債		4,092,784		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		4,029,052		
(2) その他の企業債		3,732		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		60,000		
(5) 引当金		-		
(6) リース債務		-		
2 流動負債		1,480,351		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		699,931		
(2) その他の企業債		1,382		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		62,000		
(5) 引当金		262,113		
(6) リース債務		-		
(7) 一時借入金		-		
(8) 未払金及び未払費用		454,249		
(9) 前受金及び前受収益		-		
3 繰延収益		663,406		
(1) 長期前受金		1,294,034		
(2) 長期前受金収益化累計額()		630,628		
(3) 繰延運営権対価		-		
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()		-		
(5) 運営権者更新投資		-		
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()		-		
資本合計		5,106,873		
1 資本金		10,467,326		
2 剰余金		-5,360,453		
(1) 資本剰余金		14,157		
(2) 利益剰余金		-5,374,610		
負債・資本合計		11,343,414		
不良債務		-		
実質資金不足額		-		
資本不足額()		-		
資本不足額(繰延収益控除後)()		-		
備考				

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。				
---	--	--	--	--

設立団体の状況		
人口(人)	47,937	
決算規模(千円)	35,830,976	
標準財政規模(千円)	21,361,792	
財政力指数	0.34	
経常収支比率(%)	93.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.8
	将来負担比率(%)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	377,832	391,917
資本勘定繰入	217,368	217,368
計	595,200	609,285

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	97.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				富山県	
市町村・組合名		射水市			
病院名		射水市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	16,467㎡	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	14	指定病院の状況	救臨輪		
許可公営企業		看護配置	7：1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	195	70.6	68.6	73.5	
療養	-	-	-	-	
結核	4	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	199	69.2	67.3	72.0	
平均在院日数(一般病床のみ)		21.4	20.6	21.2	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				5,757,173	
1 固定資産				5,209,245	
(1) 有形固定資産				4,869,490	
(2) 無形固定資産				305,164	
(3) 投資その他の資産				34,591	
2 流動資産				547,928	
(1) 現金及び預金				55,768	
(2) 未収金及び未収収益				474,973	
(3) 貸倒引当金()				1,489	
(4) 貯蔵品				18,676	
3 繰延資産				-	
負債合計				5,742,899	
1 固定負債				4,333,194	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				4,333,194	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				-	
(6) リース債務				-	
2 流動負債				994,517	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				576,727	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				123,526	
(6) リース債務				-	
(7) 一時借入金				80,000	
(8) 未払金及び未払費用				200,146	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				415,188	
(1) 長期前受金				630,291	
(2) 長期前受金収益化累計額()				215,103	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				14,274	
1 資本金				710,746	
2 剰余金				-696,472	
(1) 資本剰余金				-	
(2) 利益剰余金				-696,472	
負債・資本合計				5,757,173	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					

他会計からの繰入状況(千円)			
区分	基準額	実繰入額	
収益勘定繰入	415,161	446,292	
資本勘定繰入	306,700	309,900	
計	721,861	756,192	

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	21.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考：					
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。					

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				富山県	
市町村・組合名		上市町			
病院名		かみいち総合病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	16,312㎡	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	19	指定病院の状況	救へ輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	148	75.9	72.3	74.5	
療養	-	-	-	-	
結核	-	-	-	-	
精神	51	56.3	56.1	59.2	
感染症	-	-	-	-	
計	199	70.9	68.1	70.6	
平均在院日数(一般病床のみ)		16.4	17.8	12.5	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				5,534,102	
1 固定資産				3,768,166	
(1) 有形固定資産				3,716,201	
(2) 無形固定資産				-	
(3) 投資その他の資産				51,965	
2 流動資産				1,765,936	
(1) 現金及び預金				1,086,538	
(2) 未収金及び未収収益				668,954	
(3) 貸倒引当金()				2,000	
(4) 貯蔵品				12,444	
3 繰延資産				-	
負債合計				3,379,325	
1 固定負債				2,165,498	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				2,165,498	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				-	
(6) リース債務				-	
2 流動負債				840,484	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				416,897	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				150,274	
(6) リース債務				-	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				262,627	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				373,343	
(1) 長期前受金				1,228,330	
(2) 長期前受金収益化累計額()				854,987	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				2,154,777	
1 資本金				4,508,615	
2 剰余金				-2,353,838	
(1) 資本剰余金				47,712	
(2) 利益剰余金				-2,401,550	
負債・資本合計				5,534,102	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	488,490	489,990
資本勘定繰入	161,949	164,699
計	650,439	654,689

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	68.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考:	「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。
-----	--

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				富山県	
市町村・組合名		朝日町			
病院名		あさひ総合病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	17,503㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	15	指定病院の状況	救臨輪		
許可公営企業		看護配置	10：1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	109	85.9	89.5	84.8	
療養	-	-	-	-	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	109	85.9	89.5	84.8	
平均在院日数(一般病床のみ)		13.6	15.0	14.0	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				5,784,608	
1 固定資産				4,934,389	
(1) 有形固定資産				4,870,749	
(2) 無形固定資産				-	
(3) 投資その他の資産				63,640	
2 流動資産				850,219	
(1) 現金及び預金				346,714	
(2) 未収金及び未収収益				406,427	
(3) 貸倒引当金()				-	
(4) 貯蔵品				92,876	
3 繰延資産				-	
負債合計				4,592,425	
1 固定負債				3,378,968	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				3,199,842	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				179,126	
(6) リース債務				-	
2 流動負債				868,331	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				478,635	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				89,458	
(6) リース債務				-	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				298,891	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				345,126	
(1) 長期前受金				1,114,045	
(2) 長期前受金収益化累計額()				768,919	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				1,192,183	
1 資本金				1,341,686	
2 剰余金				-149,503	
(1) 資本剰余金				89,732	
(2) 利益剰余金				-239,235	
負債・資本合計				5,784,608	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	359,432	359,948
資本勘定繰入	244,395	246,895
計	603,827	606,843

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	9.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考：	「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。
-----	--

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。